

# 令和4年度小規模多機能型居宅介護 サービス評価

## 【様式集】

### ◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

### ◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

### ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和4年11月29日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画  
利用者の事前情報などは重要なポイントは、写真の添付や、蛍光マーカーを引くなど理解しやすい工夫を行う。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	1	8	1	0

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	9	1	0
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援が来ていますか？	0	8	2	0
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いが来ていますか？	0	9	1	0
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係作りのための配慮をしていますか？	0	5	5	0

できている点  
利用開始時に不安感のないように、声掛けや気遣いが出来ている。  
ミーティングなどで前もって利用者の事前情報の把握が出来ている。  
蛍光ペン、写真の活用をし、理解しやすい工夫が出来ている。  
直接家族に会う機会は少ないが、来所の際に施設内での様子を伝えるように努めている。

できていない点  
本人や家族に必要な支援が出来ていない。  
家族との連携が不足していると感じることがある。  
家族との関りがあまりない。  
ニーズの把握は出来ているが、沿った支援が出来ていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)  
身体の状態や気分の浮き沈み等で状況が変わることがあり、ニーズが変わることがある。  
利用者、家族のニーズが、実際に反映することが難しいと感じる時があり、支援に躊躇してしまう。  
利用者家族の協力が得られないときがあるため、必要な支援ができない。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和4年11月29日

2. 「～したい」の実現  
(自己実現の尊重)

メンバー  
松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
・ケアプランの見直しが必要な時は、ケアマネと職員で短時間のミニ会議を行い、共同で内容を協議する。 ・見直し毎に、ケアプランを回覧する。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	0	2	6	2

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 「本人の目標（ゴール）」が分かっていますか？	0	6	4	0
② 本人の当面の目標「～したい」が分かっていますか？	0	5	5	0
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか？	0	3	7	0
④ 実践した（関わった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	5	5	0

できている点  
本人の目標が分かっている。  
ミーティング、担当者会議などの書式回覧により出来ている。  
変更内容は都度話し合いをしている。

できていない点  
「～したい」を目指した利用者への関わりが出来ていない。  
本人の希望と家族の希望があり、窓口のケアマネージャーへの負担が大きい。  
本人の意向、具体的な目標が現実にはすぐわかないと思う。  
本人の希望が多く、全て受け入れようとするとう情報が多くなるため把握できない。  
プラン変更前のミーティングが行われていないときがある。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）  
ミーティングで相談されていない。  
本人の目標「～したい」を考えて支援出来ていない。  
目標を目指すための対応を行える職員数が少ない。  
業務優先で動いてしまっている。

3. 日常生活の支援

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画  
過去を理解するため「以前の暮らし方」の情報を、本人や自宅訪問などの機会を利用して、1つでも多く集める。情報をケアプランに記載する。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	3	7	0

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	2	6	2
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	0	9	1	0
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	2	8	0
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいた時、その都度共有していますか？	1	8	1	0
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	0	5	4	1

できている点  
本人の気持ちや体調の変化、状況に合わせた介護方法や変更を話し合いで共有している。アセスメント時になるべく色々な事を聞くようにしている。通い、訪問などで得られた情報の共有ができています。体調不良等あれば家族へ連絡し、即座に必要な対応をとるようにしている。

できていない点  
以前の暮らし方10個以上を把握できていない。自宅訪問の機会がなく、関りや環境づくりが難しい。本人の気持ちや体調の変化に即時的に対応できていない。体調の変化など気付いたときにその場にいたスタッフに言う事はあるが、全員に共有はできていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)  
本人の気持ちなのか体調が悪いのか判断が困難で、対応の仕方が分からない。本人に生活環境を聴くという意識を常に持っていない。通い利用中にゆっくり話す時間がなく、聞き出せない。その方の以前の生活に合った過ごし方など、施設対応では困難だと思われる。ミーティングでは言いづらい

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
地域資源の研修に参加できるように、関係機関へ相談する。 開催がない場合は、法人内で研修を開催できるようにする。	

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	0	6	3	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	3	7	0
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	7	2	1
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	4	2
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	4	4
⑤ 地域資源の必要性を学ぶ研修に参加し、その内容を共有出来ましたか	0	2	3	5

できている点
本人と家族、介護者や地域との関係づくりに努めている。 法人内の研修は行われている。 地域資源に関する資料を読んだり、地域の人とのつながりがあるかなどを聞いたりするようにしている。

できていない点
地域資源の必要性を学ぶ研修が出来ていない。 地域資源の把握が出来ていない。 生活スタイルや生活歴など、自分から情報を聞き出せていない。 コロナのこともあり民生委員や地域の人とも会いにくく、地域の集まりに参加できていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
コロナにより集会に参加できない。 本人の情報はケアマネージャーからの資料に頼ってしまっている。 社会資源が把握しきれていないため、研修への参加もしづらい。

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
木曜会への職員参加は、オンラインで参加できるようにする。	

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	0	2	1	7

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	2	7	1
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	0	8	2	0
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することが出来ていますか？	0	9	1	0
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援が出来ていますか？	0	6	4	0

できている点

ニーズに応じて通い・訪問・宿泊が適切に提供されている。  
地域の資源を利用している利用者もいる。

できていない点

その日、その時の状態、ニーズに合わせての柔軟な支援が出来ていない。  
木曜会に参加したことがない。内容（オンライン）も見たことがない。  
地域の資源を使っていない利用者もいる。  
ニーズより業務優先されていることも多く、適切とはいえないと思う。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

参加要請がない。  
自分自身が地域資源がどういうものか分かっていない。  
ニーズに合わせた支援をするには、もっと柔軟な対応や介護技術の向上がいると思う。

6. 連携・協働

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画  
担当者会議への職員参加は継続する。  
コロナ渦において、施設長やケアマネが参加した関係機関との会議の日程・内容を職員へ書面を作成し、報告を行う。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組めましたか？	0	6	4	0

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	4	3	3
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	4	6
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	2	8
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	1	9

できている点  
担当者会議記録は詳しく書かれていて情報共有が出来ている。  
書面での報告がきちんと行っている。  
その他サービス機関と一緒に担当者会議を行えている。  
担当者会議を行うときは、関係機関には参加をお願いし、参加できないときはコメントをもらうようにしている。

できていない点  
地域の各種機関・団体の活動やイベントに参加できていない。  
担当者会議は決まった人しか参加していない。  
高齢者や子ども、地域住民が事業所を訪れていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）  
コロナにより参加、来所出来ていない。  
地域のイベントに参加しても自分の意見を発言しづらい。  
参加する機会がない。

7. 運営

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画  
苦情報告書をコピーして、部署内で回覧を行い、情報を周知する。  
いきいきサロンの活動再開時は、積極的に協力をを行う。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	6	4	0

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことが出来ていますか？	0	7	3	0
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	9	1	0
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	6	4	0
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	2	6	2

できている点  
利用者、家族からの苦情は真摯に受け止め、すぐに対処するよう心掛けている。  
苦情報告は部署内で回覧して話し合い、情報を周知している。  
気付いたことは意見として言うようにしている。

できていない点  
地域との交流が出来ていない。  
積極的に地域と共同した取り組みが出来ていない。  
地域の方からの意見が実際にあるのかも分からない。  
意見や苦情が運営に反映されている感じがしない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)  
コロナにより共同した取り組みが出来ていない。またどんな取り組みをしたら良いかわからない。  
いきいきサロンが再開出来ていない。  
事業所のあり方自体がどういうものか分からない。  
苦情の対応がその場しのぎに感じる。



スタッフ個別評価・様式

実施日 令和4年11月29日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画  
木曜会への職員参加は、オンラインで参加できるようにする。  
オンラインで参加可能な外部研修は、本部を通じて情報を出し、参加を促進する。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	4	3

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	7	2	1
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加出来ていますか	0	1	6	3
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	8	2	0

できている点  
内部での研修は実施・参加できている。  
リスクマネジメント、危険予測に努めている。  
オンラインで参加可能な研修は出来ている。

できていない点  
資格取得やスキルアップ研修に参加できていない。  
職場外での研修、会議にほとんど参加できていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）  
コロナにより参加できなかつたり、それ自体が中止になつたりする。  
地域連絡会がどういうものか分からない。また参加の必要性が分からない。  
スキルアップしたいというモチベーションがない。  
オンライン研修なら参加できるが、参加の案内がない。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	職員に、研修資料の保管場所がはっきりわかるように工夫をする。 後見制度の研修日程を評価項目に明記する。
---------	--

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	0	6	3	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 身体拘束をしていない	7	3	0	0
② 虐待は行われていない	7	3	0	0
③ プライバシーが守られている	7	3	0	0
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	0	1
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	5	5	0	0
⑥ 成年後見制度について勉強会を開催する	2	7	1	0

できている点	身体拘束、虐待をしていない。 プライバシー保護に努めている。 個人情報の管理を行えている。
--------	---

できていない点	成年後見制度についての勉強会が行われていない。 成年後見制度を利用されている利用者はいるが、内容は詳しく分からない。 研修資料を見てもよく分からない。
---------	---

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）	コロナによりプリント配布のみで、研修会は行われていない。 成年後見制度の内容が難しく、入ってこない。 勉強会で知識を持つことと活用するには壁があると思う。 自分は活用する立場にないと思う。
---------------------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月12日(12:50～13:40)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画

利用者の事前情報などは重要なポイントは、写真の添付や、蛍光マーカーを引くなど理解しやすい工夫を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

担当者会議記録や事前情報に蛍光マーカーが引いてあり、要点が分かりやすく表記してあった。利用者宅や地図を添付してあり、イメージしやすかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	9	1	0	10
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	8	2	0	10
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	9	1	0	10
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	5	5	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用開始時に不安感のないように、声掛けや気遣いができている。  
ミーティングなどで前もって利用者の事前情報の把握が出来る。  
蛍光ペン、写真の活用をし、理解しやすい工夫が出来ている。  
直接家族に会う機会は少ないが、来所の際に施設内での様子を伝えるように努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人や家族に必要な支援が出来ていない。ニーズが実際に反映することが難しいと感じる時がある。  
家族との連携不足や、家族の協力が得られず必要な支援が出来ていない。  
家族との関りがあまりない。  
ニーズの把握は出来ているが、本人の身体状態、気分の変化によりニーズが変わることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

新規利用前に行われる担当者会議にはできるだけ施設長、ケアマネージャー、介護リーダーが参加し、本人・家族のニーズの明確化を行う。職員ミーティングで報告、共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月12日(12:50 ~13:40)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	2	6	2	10人

前回の改善計画  
ケアプランの見直しが必要な時は、ケアマネと職員で短時間のミニ会議を行い、共同で内容を協議する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
ミニ会議を行った時もあったが、会議が出来なくてその場にいる職員のみで決めたこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	6	4	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	5	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	7	0	10
④	実践した(かかわた)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	5	5	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
本人の目標が分かっている。  
ミーティング、担当者会議などの書式回覧により出来ている。  
変更内容は都度話し合いをしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
目標「～したい」を考えて支援出来ていなく、業務優先で動いてしまっている。  
本人の希望と家族の希望があり、窓口のケアマネージャーへの負担が大きい。  
本人の意向、具体的な目標が現実にはそぐわないと思う。  
本人の希望が多く、全て受け入れようとする情報が多くなるため把握できない。  
目標を目指すために対応を行える職員数が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
利用開始前にミーティングにて、本人の目標を職員間で確認する。  
利用者担当は月末のモニタリング時に、目標に対する評価をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月12日 (12:50 ~13:40)

3. 日常生活の支援

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	7	0	10人

前回の改善計画

過去を理解するため「以前の暮らし方」の情報を、本人や自宅訪問などの機会を利用して、1つでも多く集める。情報をケアプランに記載する。

前回の改善計画に対する取組み結果

「以前の暮らし方」の情報は本人、家族から聞き取りは出来ていたが、職員に周知が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	6	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	9	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	2	8	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	8	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	5	4	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の気持ちや体調の変化、状況に合わせた介護方法や変更を話し合いで共有している。  
アセスメント時になるべく色々な事を聞くようにしている。  
通い、訪問などで得られた情報の共有が出来ている。  
体調不良等あれば家族へ連絡し、即座に必要な対応をとるようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

以前の暮らし方10個以上を把握できていない。本人に以前の生活環境を聴くという意識を持っていない。  
自宅訪問の機会がなく、関りや環境づくりが難しい。  
本人の気持ちなのか体調不良なのか判断が困難で、即時的に対応できていない。  
体調の変化など気付いたときにその場にいたスタッフに言う事はあるが、全員に共有は出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

契約時に聞き出した「以前の暮らし方」を回覧し、情報を共有する。  
嗜好や趣味などの情報をもとにコミュニケーションをとる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月12日(12:50～13:40)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	3	1	10人

前回の改善計画	
地域資源の研修に参加できるように、関係機関へ相談する。 開催がない場合は、法人内で研修を開催できるようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
研修がなく、書面回覧のみだった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	7	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	7	2	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	4	2	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	4	4	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人と家族、介護者や地域との関係づくりに努めている。 法人内の研修は行われている。 地域資源に関する資料を読んだり、地域の人とのつながりがあるかなどを聞いたりするようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナにより地域資源の必要性を学ぶ研修が出来ていない。 地域資源の把握が出来ていないため、研修への参加もしづらい。 情報はケアマネージャーからの資料に頼ってしまい、生活歴などの情報を自分から聞き出せていない。 コロナのこともあり民生委員や地域の人とも会いにくく、地域の集まりに参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
年1回、毎月の職員ミーティングにて地域資源の勉強会が開催できるように職員間で準備に取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月12日(12:50～13:40)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	2	1	7	10人

前回の改善計画

木曜会への職員参加は、オンラインで参加できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員のオンライン参加ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	7	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	8	2	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	9	1	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	6	4	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
ニーズに応じて通い・訪問・宿泊が適切に提供されている。  
地域の資源を利用している利用者もいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
その日、その時の状態、ニーズに合わせての柔軟な支援が出来ていない。  
木曜会への参加要請がなく、参加したことがない。内容(オンライン)も見たことがない。  
職員が地域資源がどういうものかよく分かっていない。  
ニーズより業務優先されていることも多く、適切とはいえないと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

職員の木曜会開催時のオンライン参加を短時間でよいので促していく。(感染拡大時はその限りにあらず。)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月12日(12:50～13:40)

6. 連携・協働

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	4	0	10人

前回の改善計画	担当者会議への職員参加は継続する。 コロナ渦において、施設長やケアマネが参加した関係機関との会議の日程・内容を職員へ書面を作成し、報告を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当者会議の職員参加は出来る限り行えた。 会議内容の結果を書面での回覧、職員への報告が行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	4	3	3	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	4	6	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	2	8	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	1	9	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 担当者会議記録は詳しく書かれていて情報共有が出来ている。 書面での報告がきちんと行っている。 その他サービス機関と一緒に担当者会議を行えている。 担当者会議を行うときは、関係機関には参加をお願いし、参加できないときはコメントをもらうようにしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナにより地域の各種機関・団体の活動やイベントに参加できていない。 担当者会議は決まった人しか参加していない。参加しても自分の意見を発言しづらい。 コロナにより高齢者や子ども、地域住民が事業所を訪れていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域機関の活動、イベントは再開次第参加する。
---------------	------------------------------------



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月12日(12:50～13:40)

7. 運営

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	4	0	10人

前回の改善計画  
苦情報告書をコピーして、部署内で回覧を行い、情報を周知する。  
いきいきサロンの活動再開時は、積極的に協力をを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果  
苦情があった際は施設長よりミーティングでの報告があった。  
コピーは出来ておらず、原本をファイルに綴っていたので周知が出来ていないときもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意を言うことができますか?	0	7	3	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	1	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	4	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	6	2	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用者、家族からの苦情は真摯に受け止め、すぐに対処するよう心掛けている。  
苦情報告は部署内で回覧して話し合い、情報を周知している。  
気付いたことは意見として言うようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
コロナにより地域との交流、取り組みが出来ていない。  
どんな取り組みをしたら良いか分からない。  
地域の方からの意見が実際にあるかどうか分からない。  
意見や苦情が運営に反映されている感じがしない。対応もその場しのぎに感じる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
苦情報告の原本はファイルに綴り、コピーを回覧する。  
回覧をミーティングで読み上げ、職員全員に周知する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月12日(12:50～13:40)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	4	3	10人

前回の改善計画	木曜会への職員参加は、オンラインで参加できるようにする。 オンラインで参加可能な外部研修は、本部を通じて情報を出し、参加を促進する。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員のオンライン参加ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	7	2	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	1	6	3	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	8	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	8	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 内部での研修は実施・参加できている。 リスクマネジメント、危険予測に努めている。 オンラインで参加可能な研修は出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナにより資格取得やスキルアップ研修に参加できなかつたり、中止等でできていない。 職場外での研修、会議にほとんど参加できていない。 地域連絡会がどういったものか分からないし、参加の必要性が分からない。 スキルアップしたいというモチベーションがない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 参加可能なオンライン研修は参加を促す。参加できないときは会議内容を録画撮影し、後日職員で視聴する。 外部研修のオンラインに職員参加を促す。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月12日(12:50～13:40)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松本 道祖尾 津村 中村 坂根  
前場 宮脇 原田 西川 藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	3	1	10人

前回の改善計画
職員に、研修資料の保管場所がはっきりわかるように工夫をする。 後見制度の研修日程を評価項目に明記する。(9月30日全体研修会予定→感染予防のため書面での研修に変更)
前回の改善計画に対する取組み結果
研修資料の保管場所は知っている職員もいるが、全員周知が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	3	0	0	10
②	虐待は行われていない	7	3	0	0	10
③	プライバシーが守られている	7	3	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	0	1	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	5	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待をしていない。 プライバシー保護に努めている。 個人情報の管理を行えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナにより書類回覧のみで、成年後見制度の勉強会が行われていない。 成年後見制度を利用されている利用者はあるが、内容は詳しく分からない。 成年後見制度の内容が難しく、研修資料を見てもよく分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
年間研修計画にて、月1回の職員ミーティングで成年後見制度の勉強会を開催する。 (感染拡大時は書類回覧による自己学習も研修とする)	



- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります。
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。  
 わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- 当日は、記入頂いたチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。  
 事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	0	0
2	自己評価を作成する際、常勤スタッフの意見が反映されて実施していることが確認できましたか？	5	0	0
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	4	1	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	1	0

- 以下のB～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	4	0	1
	【前回の改善計画】			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4	1	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3	0	2
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3	1	1

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】	4	1	0
1	職員はあいさつできていますか？	4	0	1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	1	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	4

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】	4	1	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5	0	0
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	1	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2	0	3

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	1	1
	【前回の改善計画】			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	1	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4	1	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	0

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	0
	【前回の改善計画】			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	0	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	0	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	4	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5	0	0

以上で終了です。ありがとうございました。





外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	5	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	4	1	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	1	0

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・職員が工夫して支援してくれている事は伝わります。通いで来る利用者の心情や事情を察しての心遣いは感じます。話を聞いてくれる時間も作ってくれます。
- ・前回の改善計画への取り組みはなされていると感じました。

【前回の改善計画に対して意見】主な改善計画

- ①利用者情報の重要な部分は写真添付や蛍光ペンを活用など、理解しやすい工夫を行う。
- ②支援計画の見直しは、出来る範囲で短時間会議を行い、現状を反映する意識を持つ。
- ③地域資源活用研修は、自治体で開催がない場合は、法人で開催を行う。
- ④関係機関との会議内容や、苦情報告の内容は、書面をコピーして回覧・毎日の申し送りで確認を行う。
- ⑤毎月の研修会の資料は、職員に保管場所がはっきりわかるように工夫する。

※その他の前回改善事項は、別紙に記載します。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- ・できていない点については、「支援が出来ていない部分もある」という事でしたので、コロナ禍の背景もあり、業務優先になりがちなのはスタッフ不足もあるのかなと思いました。
- ・ニーズの把握について：感染対策で直接面会ができない状況もあり、またご家族が仕事を休んでまで会議やミーティングに参加する事も少ないので、以前より情報を得る事が難しくなっています。オンラインでの会議など導入しており今後もDX化を進める予定です。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・感染予防で、どうしても地域ぐるみの活動ができないになってしまう時世です。情報を共有して少しでもできる事をしていきたいですね。

【改善計画】

- ・新規利用前に行われる担当者会議にはできるだけ施設長、ケアマネージャー、介護リーダーが参加し、本人・ご家族のニーズの明確化を行う。
- ・本人の目標を職員間で確認する。
- ・オンラインでの会議や研修に職員の参加を増やす。

## A. 事業所自己評価別紙 その他の改善計画

毎月の会議にて、事業所内で改善できる事項についての進捗状況を報告しています。

改善事項	改善状況
⑥IT 機器を使用し、情報共有や会議、研修の参加に活用する。	IPAD を購入し、以前よりもオンラインによる研修、会議参加の導入が進んでいる。
⑦個々の利用者支援は、柔軟にできているので、支援の記録化（文章）を増やす。	訪問支援の記入、確実に記入していくよう職員に伝えており徐々に改善してきている。
⑧包括支援センターの協力を仰ぎ、一緒に相談毎の支援を行う。	実施できている。
⑨事業所内ミーティング勉強会の年間計画予定に「地域資源について」の学習会を盛り込み、研修を行う。	10月に資料を配布して自己学習を促したが、職員の意識は、「してない」が強い。 ※漠然とした用語のため、図書や資料も乏しいので準備も難しい。
⑩利用者本人ができている、できていないではなく、受診や服薬の情報をしっかり把握し、事業所内で情報共有していく。	記録物の確認周知が徐々に浸透し、改善している。
⑪毎月のミーティングで前月の苦情報告書の内容を周知していく。	実施できている。
⑫従来のシステムや支援方法だけでなく、最新の福祉用具の情報も取り入れ家族に提案していく。	あるご利用者に対し、ご家族の協力も得てGPS 機器を使用した支援方法を試みた。今後はオンライン会議や生活補助 IT の活用も出てくると思われる。

## B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4	1	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3	0	2
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3	1	1

### 【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・通いで来たとき、必ずお茶を出してくれる配慮が嬉しい。
- ・スライドを拝見しましたが、直接見学できていないのでわからない点が多いですがご利用者が居心地が良いと言われているのが一番です。

### 【前回の改善計画】

必要な感染対策や、物品・機材を計画的に購入する他、職員の業務の負担軽減に取り組み、ご利用者へ良いサービスが提供できる様にゆとりの持てる環境を整える。

- ・本部より：職員採用時の優先配属、感染対策における事前の資材準備、他事業所でクラスター発生時に業務助っ人に入った場合の特別手当支給、子供がウイルスに感染した場合の特別休暇振替えなど職員の労働環境には特に注意を払った。

### 【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・祖母の面会をさせて頂きました。窓越しでの面会で会話がしにくい部分はありましたが、姿がみれただけでも嬉しく思いました。コロナ禍で大変な中家族との面会や日々の情報を発信していて、とても良いと思います。
- ・清潔で気持ちの良い環境は大切です。

### 【今回の改善計画】

- ・感染対策やその他必要物品購入、設備修繕など計画的な予算を立て、利用環境向上や業務負担軽減に取り組み、より良いサービス提供のため環境を整備していく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	1	0
1	職員はあいさつできていますか？	4	0	1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	1	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の方が事業所をご存じかどうか把握できる方法がありますか？→  
【後日回答】現状は多くの地域の方と関わる手段が広報誌以外ないので把握できません。
- ・相談事は年間で何件くらいありますか？  
【後日回答】包括C経由での相談がほとんどです。接触機会が減ってますがどうしていいかわからないといった問い合わせ数件にも都度対応、助言しています。

【前回の改善計画】

- ①参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。
- ②施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・私は利用しているが、福祉サービスや施設の事を知らないお年寄りが多いと思います。知ってもらえたら利用をと思う。もったいないからもっとPRした方がいい。
- ・地域のイベントなど、コロナ禍で難しいですが、可能なことは積極的にして行ってほしいです。

【改善計画】

- ①参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。
- ②施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	1	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5	0	0
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	1	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・数年前まで地元の「こどもみこし」など施設の外で迎えてくださり、祭を盛り上げてくださいました。
- ・ツイッターや広報誌で四季を感じられるような場所へ出かけているのを拝見しています。とても良いことだと思います。

【前回の改善計画】

- ①感染予防に努めて、ご利用者が外出できる機会を多く作る。
- ②広報誌、チラシを近隣に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。
- ③関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・イベントが開けないのは残念です。行事がないと参加もできませんし。
  - ・災害時など、近隣の方との関りはどうでしょうか？→
- 【後日回答】 宮川町の防災会議が開催できていない事もあり、合同訓練なども参加できていませんが、台風時など利用者本人の不安には対応しています。

【改善計画】

- ①感染予防に努めて、ご利用者が外出できる機会を多く作る。
- ②広報誌、チラシを近隣に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。
- ③関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	1	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	1	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4	1	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・毎回、意見に対して改善策や報告があり、良いと思います。
- ・外部の意見はとても大事です。会議を活用してください。

【前回の改善計画】

運営推進会議の中で、事業所の活動や改善進歩状況などの報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で暮らしを支える仕組み作りに貢献する。

オンラインによる現場職員の木曜会参加や、活動が分かりやすい報告を目指す。

→集まったの会議開催自体ができない状況であったので、次年度は参加できるように。

可能であれば職員、ご利用者の会議直接参加が再開できれば一番よいです。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・関係ないかもしれないが、私の夫が亡くなった時の最後のお別れをすぐにしてくれた配慮や自宅での生活に困った時のサポートハウスの対応は本当にありがたかったです。

【改善計画】

- ・事業所の活動や改善進歩状況などの報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で暮らしを支える仕組み作りに貢献する。相談を受けた事例などを報告する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	0	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	0	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	4	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所での防災訓練に参加できていませんが、広報誌で拝見しました。訓練にしっかり取り組んでおり、素晴らしいと思いました。
- ・訓練に参加したが、男性スタッフがもう少しいてもいいのではと思いました。車いすの人を運ぶとか力仕事になりますし。
- ・コロナが流行り、暑い中、職員さんが顔隠しや予防のカップを着て動いているのをみると頭が下がる思いです。

【前回の改善計画】

- ・利用者の生命を守る事を最優先に、新型コロナウイルスの感染予防対策を充分に行う。
- ・災害対策、計画の内容を、木曜会、広報誌・SNS 上において広報を行い、信頼される施設を目指す。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・災害時にご利用者が宿泊できるようにする配慮は素晴らしいです。
- ・BCPの作成は大変でしょうが、大切なことですのでしっかりお願いします。

【後日回答】現在、作成途中で令和5年中にはひととおり作成予定です。次年度以降、危機管理、教育研修など充実させていきます。

【改善計画】

- ①災害対策、計画の内容を、木曜会、広報誌・SNS 上において広報を行い、信頼される施設を目指す。
- ②BCPを作成し、災害に備える。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 健推会	代表者	清水 智子	法人・ 事業所 の特徴	当法人は平成17年3月設立し、現在グループホーム2施設、小規模多機能型居宅介護1施設、介護老人福祉施設1施設を運営している。地域サポートハウスしみずでは理学療法士によるリハビリ提供を行うと共に、その内容を職員に伝えて自主リハビリ補助を行ったり、その他地域で暮らすために必要な能力を維持していくための支援に力を入れている。
事業所名	地域サポートハウス しみず	管理者	藤村 寿幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	法人役員	合計
	1人	0人	1人 (1名は事前に説明)	0人 (1名事前に意見聴取)	0人	1人	0人	2人	1人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>1. 利用者情報の重要な部分は、写真 添付や蛍光ペンを活用など見やすい工夫を行う。</p> <p>2. 支援計画の見直しは可能な限り短時間会議を行い、現状を反映する意識をもつ。</p> <p>3. 会議や苦情内容は、書面をコピーして回覧・毎日の申し送りで確認を行い、職員へきちんと伝える。</p> <p>4. 研修資料は、保管場所がわかるように工夫する。</p>	<p>①蛍光ペン、写真の活用をし、理解しやすい工夫が出来ているてわかりやすくなった。</p> <p>②現状に合った変更など、効率を考えて情報は共有できている。本人の希望が多い事や、現状との乖離があるなど、ニーズを反映するのが難しい。</p> <p>③苦情報告は回覧し、情報周知ができています。対応内容の向上が課題。</p> <p>④全員への周知が徹底できていない。</p>	<p>・前回の改善計画への取り組みはなされていると感じました。</p> <p>・職員が工夫して支援している事は伝わります。</p> <p>・「支援が出来ていない部分もある」という事でしたので、コロナ禍の背景もあり、業務優先になりがちなのはスタッフ不足もあるのかなと思いました。</p> <p>・感染対策で直接面会ができない状況もあり、またご家族が仕事を休んでまで会議やミーティングに参加する事も少ないので、以前より情報を得る事が難しくなっています。</p>	<p>①新規利用前に行われる担当者会議にはできるだけ施設長、ケアマネージャー、介護リーダーが参加して本人・ご家族のニーズの明確化を行う。</p> <p>②本人の目標を職員間で確認する。</p> <p>③オンラインでの会議や研修に職員の参加を増やす。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>1. 必要な感染対策や物品・機材を計画的に購入する他、職員の業務の負担の削減に取り組む。</p> <p>2. ご利用者に良いサービスが提供できるようにゆとりの持てる環境を整える。</p>	<p>①職員採用時の優先配属、感染対策における事前の資材準備、他事業所でクラスター発生時に業務助っ人に入った場合の特別手当支給、子供がウイルスに感染した場合の特別休暇代替えなど職員の労働環境には特に注意を払った。</p> <p>②事業所内・ご利用者にコロナ感染者、濃厚接触者が出た際は人員不足で、サービス提供を一部制限する状況が出た。</p>	<p>・通いで来たとき、必ずお茶を出してくれる配慮が嬉しい。</p> <p>・事業所環境のスライドを拝見したが、直接見れずわからない点が多いがご利用者が居心地が良いと言われているのが一番です。</p> <p>・窓越しでの面会で会話がしにくい部分はありましたが、姿を見ただけでも嬉しく思いました。コロナ禍で大変な中家族との面会や日々の情報を発信していて、とても良いと思います。</p>	<p>①消毒、清掃など衛生面での感染対策やその他必要物品購入、設備修繕など計画的な予算を立て、利用環境向上や業務負担軽減に取り組み、より良いサービス提供のため環境を整備していく。</p>



<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>1. 施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。 2. 参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。</p>	<p>①職員個々では近隣の方にお会いした際は、挨拶をするなど声掛けはできていた様子。 ②イベント自体が自粛で開催されない状況が続いていた。</p>	<p>・福祉サービスや施設の事を知らないお年寄りが多いと思います。知ってもらえたら利用をすると思う。もっとPRした方がいい。 ・地域のイベントなど、コロナ禍で難しいですが、可能なことは積極的にしていってほしいです。</p>	<p>①参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。 ②施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>1. 感染予防に努めてご利用者が外出できる機会を多く作る。 2. 広報誌、チラシを引き続き近隣施設に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。 3. 関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。</p>	<p>①所属長が外出行動を積極的に行うよう指示を行い、年間通じて外出が行っていた。 ②広報誌を近隣公民館に複数配布した。住民の方に読んで頂けている様子。 ③包括支援Cと協力し、生活困難者の情報共有は実施。</p>	<p>・ツイッターや広報誌で四季を感じられるような場所へ出かけているのを拝見しています。 ・イベントが開けないのは残念です。行事がないと参加もできませんし。近隣の方との関わる機会がほぼ絶たれている現状。</p>	<p>①感染予防に努めて、ご利用者が外出できる機会を多く作る。 ②広報誌、チラシを近隣に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。 ③関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>1. 運営推進会議の中で事業所の活動や改善進捗等の報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で支える仕組み作り貢献する。 2. オンラインによる現場職員の会議参加や活動がわかりやすい報告を目指す。</p>	<p>①コロナ禍が続き、会議の書面開催が多かったが、活動の写真報告やご意見に対する回答文書を添付し、分かりやすい報告に努めた。 ②端末機器が用意できて、オンライン参加は初めて実施できた。</p>	<p>・毎回、意見に対して改善策や報告があり、良いと思います。 ・外部の意見はとても大事です。会議を活用してください。 ・集まったの会議開催自体ができない状況が続いたので、次年度は可能であれば職員、ご利用者の会議直接参加が再開できれば一番よいです。</p>	<p>①事業所の活動や改善進捗状況などの報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で暮らしを支える仕組み作り貢献する。相談を受けた事例などを報告する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>1. 利用者の生命を守る事を最優先に新型コロナウイルスの感染予防対策を充分に行う。 2. 災害対策、計画の内容を、木曜会や広報誌・SNS上において広報を行い信頼される施設を目指す。</p>	<p>①本部主導で、感染者が出た際は素早く対応できた。感染力が強いため、複数名に感染の結果となったが、ご利用者も軽症で重症化は予防できた。 ②防災設備は計画的に保守管理できた。災害に関する法人の取り組みや情報を木曜会、広報誌掲載にて発信を行った。</p>	<p>・災害訓練にしっかり取り組んでおり、素晴らしいと思いました。 ・コロナが流行拡大時、職員が顔隠しや予防合羽を着けて動いているのを見ると頭が下がる思いです。 ・災害時にご利用者が宿泊できるようにする配慮は素晴らしいです。 ・BCPの作成は大変でしょうが、大切なことですのでしっかりお願いします。</p>	<p>①災害対策、計画の内容を、木曜会、広報誌・SNS上において広報を行い、信頼される施設を目指す。 ②BCPを作成し、災害に備える。</p>

